

INFORMATION ETHICS LEARNING SESSION

2015 Spring

WANTED
DEAD OR ALIVE



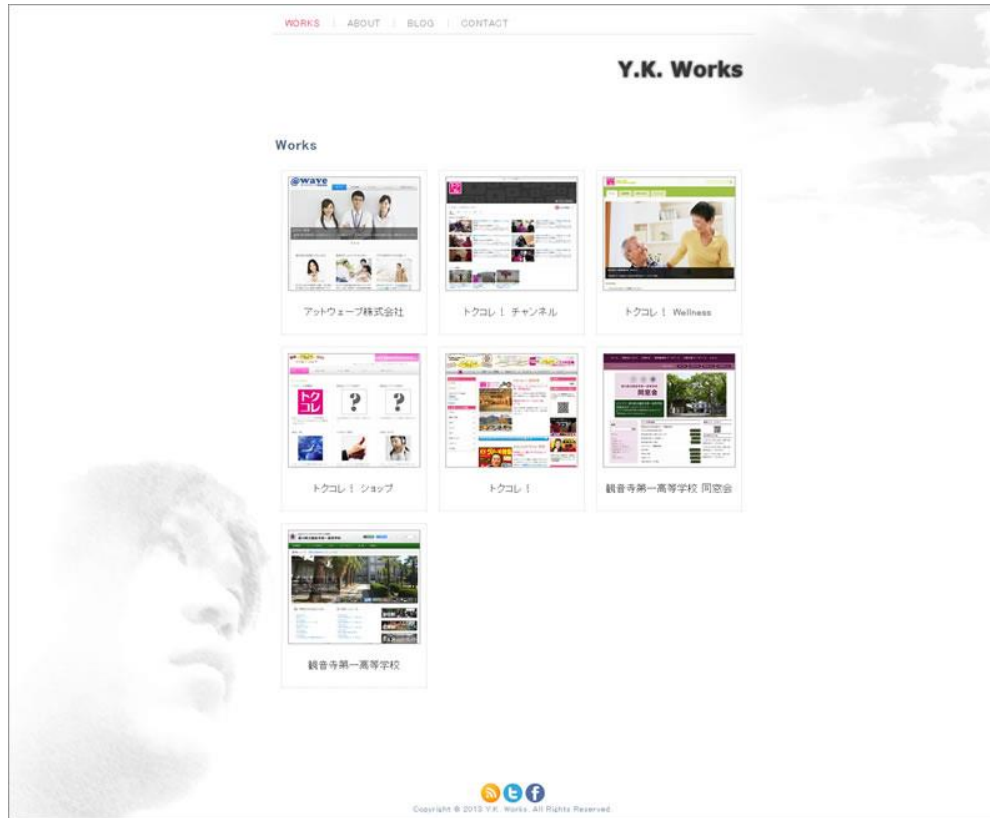
Dangerous Liar
REWARD \$1

ターゲット探索のヒント

- 本名は北野 洋一・1979年生まれ
- ターゲットのサイトには顔写真が載っている
- 3月に GATE II という曲を聴いて号泣していた
- 観一に関わりのあるWebサイトを手がけている

正 解

Y. K. WORKS



<https://yk.si/>

講義内容

- 本日本話しする内容についての注意事項
- ぱよぱよちん事件から学ぶ、自由な発言
リスクの話
- LINEアプリの脆弱性から学ぶ、アプリに
まつわる危険な話

講義内容

- 本日本話しする内容についての注意事項
- ぱよぱよちん事件から学ぶ、自由な発言
リスクの話
- LINEアプリの脆弱性から学ぶ、アプリに
まつわる危険な話

ご了承ください



ご了承ください

今日お話しする内容は、現時点において、限りなく真実であろうと考えられる内容をお話しいたしますが、その全てが正しいものであることは保証いたしません。

その理由

- IT・ネット業界は流れが速く、後に新たな真実が発見され、結果的に誤りであったという可能性がある
- 分かりやすく物事を伝えるため、正確さより分かりやすさを優先することがある
- 物事には様々なとらえ方があり、私の見ている真実が普遍的な真実とは限らない
- 大切なのは、疑問を持ち続けることだ(アインシュタイン)

私の好きな言葉

悪魔は天使の顔をして
近づいてくる



今日お話しすることは

今後のためのヒント



講義内容

- 本日本話しする内容についての注意事項
- **ぱよぱよちゃん事件から学ぶ、自由な発言
リスクの話**
- LINEアプリの脆弱性から学ぶ、アプリに
まつわる危険な話

検索してみよう

ぱよぱよちーん

事件の経緯

1. A氏がFacebook上で公開された、はすみとしこ氏による「そうだ難民しよう」イラストにいいね！した人をリスト化し、公開

<http://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/1510/05/news107.html>

より、画像を引用して説明

事件の経緯

2. A氏はこれまでも過激な言動が多かったため、個人を特定しようとする動きに発展した
3. A氏とプライベートな付き合いがあったB氏が、A氏の本名と思われる名前を公開する
4. 様々な情報の断片をつなぎ合わせて、個人の特特定ができた

炎上する発言パターン

1. 犯罪自慢(万引き・飲酒 etc)
2. モラルやルール違反の告白
(例：カンニング・いじめ etc)
3. 偏った考えの発信(例：○○のような人間は生きている価値がない)
4. 特定のセンシティブな話題に触れた
(例：政治・宗教・皇室・野球チーム etc)

http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20151225_737097.html

より、画像を引用して説明

投稿で個人の特定は可能か？

よい子のストーリーキング講座



イベントを狙え

- 学校特有のイベント
(例：学園祭、自習、短縮授業 etc)
- 地域のイベント
(例：お祭り、電車遅延、火事 etc)
- 天気や環境イベント
(例：雨、停電、落雷、虹 etc)

本格的なストーキング方法

まとめ

- ネット上で敵を作る発言をしていると、情報漏えいリスクが高まる
- 個人特定されやすい内容 + 敵を作る発言 = 炎上リスク急上昇
- 有名人ではないからと安心はできない。ネット上には自らの正義を絶対と考えるタイプの人もある

講義内容

- 本日本話しする内容についての注意事項
- ぱよぱよちん事件から学ぶ、自由な発言
リスクの話
- LINEアプリの脆弱性から学ぶ、アプリに
まつわる危険な話

最近のLINEでの事件といえば

センテンス スプリング

LINEにあった4つの脆弱性

1. ログアウトされない認証キー
2. 非公開設定の人にタイムラインが見られてしまう
3. なりすまされてタイムラインへコメントされてしまう
4. 限定公開にしたグループノートが自由に閲覧・書き込み・編集されてしまう

人気で広く使われていても……

安全かどうかは無関係

<http://jp.techcrunch.com/2015/03/16/jp20150316line/>

より、画像を引用して説明

<http://blog.trendmicro.co.jp/archives/12960>

より、画像を引用して説明

レビューの評価が高くても……

安全かどうかは無関係

ウイルス対策ソフトは……

気休めくらいのレベル

<http://www.newsweekjapan.jp/stories/business/2014/05/post-3271.php>

より、画像を引用して説明

まとめ

- よく使われるアプリにも脆弱性はある。こまめなアップデートを
- 不正アプリはそこかしこにある。見極めはますます難しくなる
- 絶対安心なアプリは存在しない。最新情報を集めるクセをつけよう

最後に

知は力なり